

平成23年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年2月10日

上場取引所 大

上場会社名 アイサンテクノロジー株式会社
 コード番号 4667 URL <http://www.aisantec.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 柳澤 哲二

問合せ先責任者 (役職名) 取締役業務統括部長 (氏名) 加藤 淳

TEL 052-950-7500

四半期報告書提出予定日 平成23年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第3四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第3四半期	973	—	△36	—	△19	—	△263	—
22年3月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第3四半期	△57.72	—
22年3月期第3四半期	—	—

(注)平成23年3月期第3四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成22年3月期の数値及び対前年同四半期増減率については記載しておりません

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第3四半期	2,078	1,174	56.4	254.51
22年3月期	—	—	—	—

(参考)自己資本 23年3月期第3四半期 1,172百万円 22年3月期 一百万円

(注)平成23年3月期第3四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成22年3月期の数値については記載しておりません

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	0.00	—	4.00	4.00
23年3月期	—	0.00	—	—	—
23年3月期 (予想)	—	—	—	4.00	4.00

(注)当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,500	—	150	—	185	—	△60	—	13.10

(注)当四半期における業績予想の修正有無 有

平成23年3月期第3四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、増減率については記載しておりません

4. その他（詳細は、【添付資料】P.3「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

新規 一社（社名

）、除外 一社（社名

）

（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 有

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む） 23年3月期3Q 4,699,600株 22年3月期 4,699,600株

② 期末自己株式数 23年3月期3Q 92,556株 22年3月期 222,556株

③ 期中平均株式数（四半期累計） 23年3月期3Q 4,573,480株 22年3月期3Q 4,651,808株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、（添付資料）P. 2「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. その他の情報	2
(1) 重要な子会社の異動の概要	2
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	2
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書	6
(第3四半期連結累計期間)	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間より連結財務諸表を作成しているため、業績数値の前年第3四半期会計期間等との比較は行なっていません。

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における国内経済は、堅調な経済成長を続ける新興国への外需に加えて、経済対策による下支え効果等により持ち直しの局面に入りつつあるものの、新卒者の低水準な内定率に示されるとおり、デフレからの脱却からは依然として厳しい状況にあります。

このような事業環境のなか当社グループ（当社及び当社の連結子会社）は主力事業「測量土木関連システム事業」の主たる販売市場である「測量・土木・不動産登記」市場においては、公共事業予算が前年度から18%削減の厳しい環境の中、9月下旬に「G空間EXPO」が盛大に開催され来たる地理空間情報時代に向けた新たなビジネスモデルの胎動は、国産「初」となります準天頂衛星「みちびき」の打ち上げ効果も追い風となって、力強さが増しつつある状況にあります。

こうした状況の中で当社は、当社の主力製品の「Wingシリーズ」の新製品となる「WingNeo INFINITY（ウィングネオ インフィニティ）」の市場投入を図り、当社製品をご使用いただくお客様に向けたアップグレードのご提案並びに他社製品を使用されるお客様へ積極的な乗換えのご提案に係る営業を展開してまいりました。また、一昨年から事業展開を進めておりますモバイルマッピングシステムを用いた高精度3次元地図計測ビジネスにおいては、運行及び解析に係るノウハウの習得を蓄積しつつ大手民間企業からの計測案件を継続的に受注する等、収益の柱としての見通しを固めてまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は973百万円となり、販売管理費の抑制及び見直しを進めた結果、営業損失は36百万円となりました。当社グループは当期から保守契約に係る収益認識の会計方針を変更したことから、四半期純損失は263百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①当第3四半期連結会計期間末の資産、負債及び純資産の状況

(資産)

資産合計は2,078百万円となりました。このうち流動資産は1,149百万円となり、主な内訳として現金及び預金が845百万円です。また固定資産は929百万円となり、主な内訳として有形固定資産が645百万円です。

(負債)

負債合計は903百万円となりました。このうち流動負債は479百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は1,174百万円となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況は以下の通りであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

税引等調整前四半期純損失は232百万円となりましたが、売上債権の減少による資金の増加227百万円などにより、営業活動により獲得した資金は87百万円となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

無形固定資産の取得による支出39百万円などにより、投資活動により使用した資金は37百万円となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

社債の償還による支出50百万円、自己株式の処分による収入18百万円、ファイナンス・リース債務の返済による支出22百万円などにより、財務活動により使用した資金は14百万円となりました。

以上の結果、当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は765百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年3月期通期連結業績予想は、当第3四半期連結累計期間の業績に、第4四半期連結会計期間の業績予想を加味したものであります。当第3四半期連結会計期間より連結財務諸表を作成しており、当該業績予想に関しましては、本日公表の「連結決算開始に伴う、連結業績予想に関するお知らせ」をご参照下さい。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

1. 簡便な会計処理

固定資産の減価償却費の算定方法は、年度予算に基づく年間償却予定額を期間按分する方法としております。

2. 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

(資産除去債務に関する会計基準の適用)

第1四半期会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。なお、これによる損益に与える影響はありません。

(収益認識基準の変更)

従来、保守売上の収益認識については、保守契約期間が1年超のものについては期間対応分を収益計上し、それ以外のものについては、保守契約の開始時に収益計上しておりましたが、保守売上の売上全体に占める割合が相対的に高くなってきたことから、収益計上の厳格化による期間損益の適正化のため、第1四半期会計期間より契約金額を月数按分して、期間対応させる処理に変更しました。

これにより、従来の方法と比較して、当第3四半期連結累計期間の売上高は78,182千円増加し、それに伴い営業損失、経常損失がそれぞれ、78,182千円減少し、税引等調整前四半期純損失が126,605千円増加しております。

(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

当第3四半期連結会計期間末
 (平成22年12月31日)

資産の部	
流動資産	
現金及び預金	845,562
受取手形及び売掛金	231,681
商品及び製品	32,155
仕掛品	3,823
繰延税金資産	16,911
その他	21,739
貸倒引当金	△2,437
流動資産合計	1,149,435
固定資産	
有形固定資産	
建物及び構築物	282,317
減価償却累計額	△89,449
建物及び構築物(純額)	192,868
土地	341,789
リース資産	143,996
減価償却累計額	△37,221
リース資産(純額)	106,775
その他	33,351
減価償却累計額	△29,199
その他(純額)	4,151
有形固定資産合計	645,585
無形固定資産	
リース資産	7,025
その他	104,372
無形固定資産合計	111,398
投資その他の資産	
投資有価証券	13,721
繰延税金資産	11,314
その他	147,584
貸倒引当金	△330
投資その他の資産合計	172,289
固定資産合計	929,273
資産合計	2,078,709

(単位:千円)

当第3四半期連結会計期間末
(平成22年12月31日)

負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金		71,646
短期借入金		75,000
リース債務		31,274
未払法人税等		1,631
賞与引当金		20,303
その他		279,234
流動負債合計		479,090
固定負債		
社債		190,000
リース債務		91,651
退職給付引当金		102,380
その他		40,653
固定負債合計		424,684
負債合計		903,774
純資産の部		
株主資本		
資本金		520,840
資本剰余金		559,863
利益剰余金		105,748
自己株式		△12,349
株主資本合計		1,174,102
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金		△1,562
評価・換算差額等合計		△1,562
少数株主持分		2,395
純資産合計		1,174,934
負債純資産合計		2,078,709

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
売上高	973,964
売上原価	337,344
売上総利益	636,619
販売費及び一般管理費	
給料及び賞与	271,648
退職給付費用	16,052
その他	385,363
販売費及び一般管理費合計	673,064
営業損失(△)	△36,444
営業外収益	
受取利息	1,133
助成金収入	25,236
その他	1,150
営業外収益合計	27,520
営業外費用	
支払利息	8,661
その他	1,495
営業外費用合計	10,157
経常損失(△)	△19,082
特別利益	
貸倒引当金戻入額	1,718
会員権売却益	400
特別利益合計	2,118
特別損失	
固定資産除却損	516
前期損益修正損	204,788
投資有価証券評価損	9,841
特別損失合計	215,146
税金等調整前四半期純損失(△)	△232,110
法人税、住民税及び事業税	5,822
法人税等調整額	26,494
法人税等合計	32,317
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△264,427
少数株主損失(△)	△428
四半期純損失(△)	△263,999

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

当第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純損失 (△)	△232,110
減価償却費	58,343
受取利息及び受取配当金	△1,433
支払利息	8,661
売上債権の増減額 (△は増加)	227,619
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△15,829
仕入債務の増減額 (△は減少)	6,210
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△14,056
投資有価証券評価損益 (△は益)	9,841
前受金の増減額 (△は減少)	69,706
その他	△6,571
小計	110,380
利息及び配当金の受取額	1,659
利息の支払額	△8,143
法人税等の支払額	△16,032
営業活動によるキャッシュ・フロー	87,864
投資活動によるキャッシュ・フロー	
無形固定資産の取得による支出	△39,014
会員権の売却による収入	3,600
その他	△2,205
投資活動によるキャッシュ・フロー	△37,619
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額 (△は減少)	67,500
社債の償還による支出	△50,000
配当金の支払額	△17,913
少数株主からの払込みによる収入	2,000
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△22,953
自己株式の処分による収入	18,720
割賦債務の返済による支出	△12,102
財務活動によるキャッシュ・フロー	△14,749
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	35,495
現金及び現金同等物の期首残高	728,203
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	1,863
現金及び現金同等物の四半期末残高	765,562

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。